

第40回清榮祭 中学劇規定

第40代 清榮祭実行委員会 ステージ統括部署

中学劇の参加者は、以下の内容を熟読すること。

1.劇概要および脚本について

☆**観客が楽しめる**脚本作りを徹底すること。

＜概要＞

- 体育館舞台で上演する。
- 1日1公演で、2日間で計2回行う。
- 表彰はない。
- 中学3学年が、2団体に分かれて縦割りで演劇を行う。各学年の有志が中学劇専属となて行う。中学A・中学Bの2団体に分けて行う（誰がどちらに配属されるかは全体の人数や男女比を見て決定する）。

＜注意事項＞

- 今年の清榮祭のテーマ、『標～Oriente～』にちなんだものを行うこと。
- 『標～Oriente～』の意味に沿って、既存の話をオマージュするか、オリジナルの劇を創り上げること。
- 見ている人がワクワクする劇を心がけること。
- 一般の方に公開するので、いわゆる”内輪ネタ”の脚本は避けること。
- 公序良俗に反する内容は一切認めない。
- 火気の使用や火の元となるようなものは危険なため禁止とする。
- 制限時間は20分とする。
- 劇の上映終了後速やかに撤収できるように、ごみが散らばらないようにすること。
- 体育館が汚れるまた傷つくようなものは使用してはならない。

2.ポスターについて

- 宣伝用のポスターを作成すること。
- ポスター案の作成完了次第、Gmail等を通じてPDF形式で清榮祭実行委員に提出すること。
- 提出日は8/25を想定している。計画的に進めること。（変更の可能性あり）
- 紙の種類は、A0（1.2M × 0.8M）を1枚、A4を6枚程度にすること。
- 作成したポスターのデータはClassroomに投稿すること。
- デザインはものによって異なってもよい。
- ポスターの印刷にかかる費用は各団体の予算外から出される。（清榮祭実行委員会の予算）

3. 予算および大道具・小道具・衣装に関して

- 予算は原則消耗品の購入にのみ使用できる。
- 大道具、小道具、衣装は準備期間中、各準備場所に保管すること。
- 大道具、小道具、衣装は大きすぎず、持ち運び可能なものにすること。
- 大道具、小道具、衣装は公序良俗に反するものは不可とする。
- 衣装は原則布から作成するか、私物を持参すること。
- 予算内での購入を行う場合、購入前に中学劇担当教員を通すなどして、部署担当教員に購入の許可をもらうこと。
- 今後備品として再利用できそうなものを予算内で購入した場合、**清榮祭終了後、清榮祭実行委員が回収する。**
- 衣装については、「 第40回清榮祭 服飾規定.pdf」を遵守すること。

4. 準備について

- 準備期間中は担当全員が準備に取り組むこと。
- 「授業中」の扱いなので遊ぶ、寝る、何かを食べるなどの行為は言語道断である。
- 他クラスの邪魔になるようなことはしないこと。
- **放送**で連絡をする場合があるので注意して聞いておくこと。
- 担当の清榮祭実行委員の連絡をよく聞くこと。
- 準備中の美化については、「 第40回清榮祭 美化規定.pdf」を参照し遵守すること。

i) 大道具・小道具・衣装等の作成について

- 基本的な作業場所は
中学A班：セミナー室西 中学B班：セミナー室東
- 場所は譲り合って利用すること。
- 準備は必ず**教員の立ち会いのもと**で行うこと。
- ペンキの使用場所は卓球場とする。
- 原則カッターの貸出はないものとする。
- 教員は、各教室に一名ずつ配置する。
- 体育館内での火気の使用や火の元となるようなものは危険なため禁止とする。
- その他備品の使用、美化に関することは、「 第40回清榮祭 美化規定.pdf」を参照すること。
- 作業時は熱中症を避けるために、こまめな水分補給をすること。喉が渴いたと感じる前からの水分補給を徹底すること。
- 不具合、疑問点などがある場合は、すぐに教員と担当の清榮祭実行委員に相談すること。

ii) 演技の練習に関して

- 練習場所は、体育館フロア、体育館舞台とする。

- 体育館舞台に関しては決められた時間を守って使用すること。
- 場所によらず**教員の付き添い**の元、練習をすること。
- 演技練習中であれば、衣装での練習を許可するが、衣装のまま劇に関係のないことはしないこと。
- 教員配置は、体育館フロア・舞台上のどちらで練習する場合も中学劇担当の教員を一名配置する。
- 準備期間中のChromebookの持ち込みは座長、副座長、音響、道具作成チーフに限る。また、使用用途は音源や台本、その他劇に関する資料の閲覧、編集や練習の撮影等、準備に関わることに限り認める。
- その他の劇専属が練習時にChromebookを使用すること、練習場所に持ち込むことは、原則認めない。ただし、どうしても使わなければならない状況にある場合は担当の清榮祭実行委員に都度相談すること。
- 資料の印刷が必要な場合は、団体顧問教員に相談すること。（ただし、必ずしも対応できるとは限らない。）

5.劇の音源について

- 著作権規定や説明会の内容を遵守すること。
- 音源は基本的にフリー素材とし、その他購入する音源は清榮祭実行委員へ伝えること。
- 音源を購入する場合は、会計規定に則った方法で学校のクレジットカードを利用する。中学劇担当教員を通して部署担当教員に購入してもらうこと。
- 劇専属員の所有するCDなどは使用してよいが、本劇のためだけに個人のお金を使用することは禁止する。

6.劇の照明について

- 2階のギャラリーに設置されているライトを使用する。
左右に1台ずつ、計2台ある。セロファン等を被せて、照明の色を調節しても良い。
- 照明は、舞台全体や客席の照明（それぞれ、舞台全体でON/OFF、客席全体でON/OFFの切り替えが可能）と、2階のスポットライト2台を使用できる。
- 照明の切り替えについても、希望する場合は各団体から担当者を出すこと。
- プロジェクターを用いて背景や映像などを投影することもできる。希望する場合は各団体からプロジェクター操作の担当者を最低1名出すこと。

規定に関する質問等は、ステージ統括部署(2026seiei-stage@edu.nishiyamato.ed.jp)まで